

現代日本論基礎講読「研究法入門」

第4講 本を読む (3): 精読

田中重人 (東北大学文学部准教授)

[テーマ] 文章を細かいところまでちゃんと読む

1 今日の課題

1.1 事前準備

自分の興味ある本から4-9段落程度をコピーする。A3用紙の中央にうまく配置する。必要があれば図や表なども一緒にコピーしておく。上下左右に大きく余白をとること。

1.2 授業中課題

各段落の「キーセンテンス」を蛍光ペンなどでマーク。

わからない語・句・節・文などを○や下線でマーク。必要に応じて、これらの○や下線に番号や記号をつける。これらについての疑問点を余白に書く。「わからない」とは、単独で意味不明なもののほか、「語Aと語Bの違いがわからない」「下線Xと下線Yは矛盾してないか?」「キーセンテンスと関係なさそう」といったことを含む。

疑問点をどのようにすれば解決できるかを考える（本のほかの部分を見る、索引を引く、ほかの文献を読む、辞書で調べる、人に聞く、など）。

実際に調べたり考えたりして、わかったことを余白に書き入れていく。

ある程度できたら、他の人に見せて意見をもらう。たとえば、疑問点が正しく解消できているか、解消できていない疑問点についての意見、疑問点としてあがっていない部分についての質問、など。

1.3 宿題

- (1) もらった意見と、授業後に調べたことを総合して、余白にすべて書く。結局わからなかったことについても、なにがわからないかと、どう調べればわかる可能性があるかを書く。
- (2) 各段落が何をいおうとしているかを、別の用紙にまとめる。短文でも、箇条書きでも、図解でもよい。1年後に自分自身が読み直して、記憶を呼び戻せるように書くこと。用紙いちばん上にその本の書誌情報を書く。

教科書 p. 86, 103-105 を参考にする。

2 情報の蓄積と整理の方法

- 本を読む習慣をつけること
- 雑誌と雑誌論文について
- その他の情報源
- 文献を読むときのメモ → 下線を引く、付箋を貼る、目次にメモ、コピーや写真を撮るなど
- 情報の整理 → ノートやカードの蓄積、デジタル技術の活用 (日経 BP 社, pp. 24-29)
- 書誌情報と現物の保管 → 文献整理ソフトの利用、本棚やコピー収納場所の確保
- 文献探索の方法 → 日本語教育学のページ <<http://www.sal.tohoku.ac.jp/nik/student/litsurv.html>> や図書館の冊子『情報探索の基礎知識』 <<http://www.library.tohoku.ac.jp/literacy/kisochishiki.html>> を参照

3 来週の予定

来週は、各自の考えている内容についての「マインドマップ」をつくります。色ペンを (できるだけ多種) もってこること。また、レポートに何が書きたいか、現在のところ持っている情報は何かをまとめておくこと。